学ぼう！伝えよう！豊かなふるさとの海

高知県宿毛市は四国の西南端にあり、海、山、川、そして青い空といった自然に囲まれた地域である。特に小筑紫地域は宿毛湾に接しており昔から海の恩恵を受けて発展してきた。小筑紫町の中には、湊、大海、田ノ浦といった海に関係した地名も多い。宿毛市史によると、宿毛湾では、明治・大正にかけてアジやイワシ、きびなごやカマスなどたくさんの魚が捕れたという。小筑紫町栄喜では、終戦後まで鰹が回遊し、昭和 23 年には栄喜漁協の前の網代にマグロが群をなしてかかったそうである。しかし、今ではこれらの魚の漁獲量は少なくなり、代わって養殖業が盛んになっている。

こうした海と密接に結びついた地域の中で育っている子どもたちだからこそ、海の学習を通して、海の豊かさに感謝し、海を知り、海を大切にしていこうとする態度を育てていきたい。

そこで、今年度、海洋教育の基礎理念である**「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」**という４つのキーワードを柱に体験的な学習を実施した。

【これまでの取組より】

5 月　春の全校遠足（大海の浜）

6 月　幡多青少年の家で宿泊体験学習（5 年生）

8 月　避難訓練と防災学習（全校、保護者）

10 月　福良川の汽水域での水辺の生き物調べ（1,2 年生）
　　講師：黒潮生物研究所　中地所長
　栄喜漁協女性部の協力による出前授業（5 年生）
　すくも湾漁業協同組合（市場）の見学（1,2 年生）

11 月　黒潮生物研究所の見学（5 年生）

　宿毛湾の漁業（5 年生）
　竜串海岸での校外学習（5,6 年）
　（地層見学とグラスボートでの見学）
　講師：足摺ジオパークの方々、グラスボートの船長

12 月　海上保安署の見学（5,6 年）
　防災マップづくりフィールドワーク（4 年生）

2 月　森林植樹

3 月　お別れ遠足

（下田公園と竜串で海の学習：足摺海洋館での学習）（全学年）
※月 1 回の「釣りクラブ」（4～6 年生）
　年間を通した防災学習（全学年）の実施

海に親しむ

1 泊 2 日の宿泊学習でシーカヤックとスキムボードに挑戦。笑顔一杯の楽しい活動ができました。

海を守る・海を利用する

宿毛湾の養殖業について学習し、鯛めしとキビナゴを使った料理をしました。初めて魚を調理した子どもいましたが、とてもおいしい料理ができました。

海を知る

今年度は、栄喜地区の防災マップを作りました。実際に避難場所まで上がり、問題点や気になることを見つけ、学習しました。防災意識の向上につながっています。

毎月小筑紫の港で釣りクラブの活動をしています。キス、ガシラ、グレなどが釣れ、楽しく活動しています。

海に親しむ

【1、２年生の取り組み】

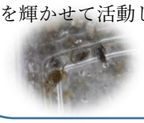
（1）福良川汽水域の生き物調べ

１０月９日（火）1、２年生が黒潮生物研究所の中地所長を講師に招いて、学校前の福良川河口の干潟で「海の生き物」の観察を行いました。
台風等で大水が出た関係で条件はあまりよくありませんでしたが、潮が引いた干潟には、貝やヤドカリ、カニやエビなどたくさんの生き物がいました。子どもたちは、熊手で貝を掘ったり、カニやエビを捕まえたりと大喜びでした。

対岸から見た小筑紫小学校

学校前に大きな干潟が広がりました

学校前の福良川河口は、干潮になると大きな干潟ができます。そこにはエビ、カニ、貝、ゴカイなどたくさんの生き物がいます。身近なところにいる海辺の生物の観察をしました。みんな目を輝かせて活動しました。



捕まえた生き物をみんなで見せ合いました。エビ、カニ、貝、アナジャコなど、たくさんの生き物がいました。

【3、４年生の取り組み】

（1）ヒラメの放流

宿毛市産業振興課（全国豊かな海づくり大会～高知家大会～）の協力で、3、4 年生の子どもたちが「もくもく広場」の東側の岸壁で、４㎝～10 ㎝に育った約 9000 尾のヒラメを放流しました。

初めてヒラメの稚魚を見た子どもたちから「かわいい～！」という歓声が上がっていました。

大きくなって帰ってきてね～

子どもたちの感想（一部抜粋）から
○人間が海を汚していると知ってがっかりしました。これからは、海をきれいにするよう気を付けたいです。
○海が人のせいで汚れて、ヒラメやほかの魚が少なくなっていると聞いて、海を汚さない生活をしようと思いました。

宿毛湾はたくさんの種類の魚が獲れる豊かな海です。こうした活動を通して、子どもたちが海に関心を持ち、海を大切にしていこうという気持ちが育ってくれればと思っています。

【５、６年生の取り組み】

（１）竜串海岸の見学と海の生物の学習

５、６年生が足摺宇和海国立公園の中にある松崎海岸の地層、竜串海岸の風波の浸食によってできた奇石の学習をしました。このあたりの海岸は地質の博物館ともいわれ、松崎海岸の地層は６年生の理科の教科書にも掲載されています。また、この地域は黒潮の影響を受けており、海の中には熱帯系の魚が泳ぎ回り、テーブルサンゴなど、たくさんのサンゴも見ることができます。この見学では、「海でできる地層の学習」や「海の豊かさと海を守っていくことの大切さ」などたくさんのことを学習することができました。

土佐清水市の観光商工課・土佐清水ジオパーク推進室の皆様・グラスボートの船長さんには、大変お世話になりました。

グラスボートには初めて乗ったという子どもが多く、ガラスの下の海の世界に感激！
「うわぁ～！　すごい！」という驚きの声が。

子どもの感想（一部抜粋）から
〇グラスボートに乗って海の中を見ました。魚がいっぱい見えてきたときは興奮しました。それに、魚もたくさんいたけど、サンゴもたくさんあってびっくりしました。
〇サンゴがオニヒトデに食べられるということは知っていたけど、オニヒトデに食べられるとサンゴの色が赤やオレンジから白に変わるので驚きました。

（２）海上保安署の見学

１２月１１日（火）５、６年生が海上保安署の見学と巡視船「あらせ」に乗って体験航海をさせていただきました。この活動後には、「将来、海上保安署の仕事をしてみたい。」という子どもたちからの感想もありました。海上保安署の仕事や海の大切さを学ぶことができました。

家庭から排出されたゴミや油、生活用水で海が汚されていることを学習しました。

双眼鏡で漁船や海岸線を見ました。レーダーも見ました。感激です！

親切で温かい対応をしていただいた海上保安署の皆様にはお世話になりました。ありがとうございました。

【子どもたちの感想～一部抜粋～より】
〇よく耳にする赤潮が、私たちの食べた料理や油などの残り物を海に流したりすることで発生することもあると聞いて驚きました。また、油を少し海に流しただけでもそれを取り除くことがとても大変だということも学習しました。これからも海にゴミを捨てたり油を流したりしないように気をつけ、きれいな海を守る努力をしていきたいです。
〇海上保安庁の仕事は、人の命を救ったり、災害に備えたり、青い海を守ったりする大変な仕事だと思います。朝、昼、夜、いつ問題が起きてもその場に一秒でも早く行き、命や海を守っていて、とてもかっこいい仕事だと思いました。

【全校の取り組み】

（１）春の遠足

１年生を迎えての「春の遠足」を行いました。この日は潮もよく引き、潮だまりの中のエビやカニ、魚やナマコ、ヤドカリなどをとって楽しそうにしている子どもたちがたくさんいました。また、石を投げて水切りをしたり、貝殻を拾ったりととても楽しそうでした。

みんな楽しそうに話をしながら、エビや魚を探しています。

水切りや釣りもしました。

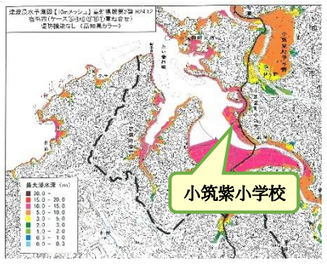
甲羅に顔が描かれたようなカニを見つけた人もいました。～笑ったような顔をしていたので、それを見た人は、楽しくなって、笑ってくれたそうです～

貝殻や石を使って料理を作りました！

最近は海で遊んだり、貝を採ったり、魚を釣ったりする子どもが減っています。春の遠足は子どもたちが海を身近に感じることができる行事です。みんな目を輝かせながらいろいろな生き物を捕まえていました。
帰りには、海上保安署の方々とプラスチックやビニール類、空き缶などのごみを拾いました。楽しい一日を過ごすことができました。

（２）夏休み中の避難訓練と防災学習

宿毛市小筑紫町は自然豊かで、海や山、川に囲まれた素晴らしい地域ですが、南海トラフ大地震が発生すると、大きな被害が発生する可能性が高い地域です。「海の恵みに感謝し、海と共に生活している地域」だからこそ、地震や津波についての理解を深め、命を守る学習をしていきたいと思っています。



命を守るために「より早く」「より高く」を合言葉に親子で避難訓練をしました。その後、地震（津波）の講演を聴きました。

30 ㎝の津波到達予想時間	24 分
最大高の津波到達予想時間	38 分
最大浸水の深さ	10.2m
液状化による地盤沈下	2.12m

という予測が出ています。

（３）お別れ遠足での足摺海洋館見学（えさやり体験）

２月 27 日(水)全校で足摺海洋館に行きました。
海洋館では１、２年生が大水槽の上で魚のえさやり体験をしました。子どもたちは水面でえさを食べる魚の大きさと水音に驚いていました。ナマコなどを触ったり、カメやアシカを見たりして楽しい時間を過ごしました。